

高津区の福祉

おあしす

希望の泉

第52号



(社協の会章)

令和3年3月1日

発行 川崎市高津区社会福祉協議会

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内

TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549

<https://takatsuku-shakyo.jp/>

E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 富田 誠

編集人 おあしす編集委員会

町会長から見た 高津区社会福祉協議会

下作延中央町内会 会長 高橋 準三



下作延中央町内会は、設立から60年を超える歴史を持つ町会で、会員は2,400世帯です。場所は梶ヶ谷交差点から渋谷方向へ向かう国道246の両側および、同交差点から西方向へ延びる県道の両側に配置しており、戸建て住宅とマンションが立ち並ぶほか、平瀬川には大きな鯉やコサギが羽根を休めている自然も残されています。

今年度は他の団体同様、新型コロナウイルスの影響で多くの活動自粛の1年を過ごしました。町内会活動の目的は安全で安心を得られる地域づくりであると認識しております。コロナにより避難所開設のあり方についても再考を余儀なくされておりますが、当町会ではいざという時に避難や捜索の一助となるように家族全員の名前を記入していただく「防災名簿」を作成している他、「無事ですタオル」を全戸配付し、会館には「消火ホースキット」や「AED」を設置し、防災訓練も重ねてまいりました。防犯活動としては「夜間防

犯パトロール」、「学童の下校見守り」に加えて防犯カメラを設置し、カメラがある地域である旨を知らせる看板を掲示することで犯罪の抑止を図っています。

また、安心の第一は福祉活動であり、ミニデイ及びふれあい会食会の協力、加えて「にこにこ会」、「公園体操」などを続けてきました。そして、町内の福祉活動は民生委員児童委員、福祉部役員に加えて寿会(老人会)も見守り活動を行い会員相互の助け合いを行っております。

社協の役割の一つに、大きな災害が起きた時のボランティア受付がありますが、一般的にあまり知られていないので周知が必要ではないかと思えます。

私達町内会も社協と共に地域福祉の推進や災害時の対応などの一翼を担うことをお約束し、活動していきます。

コロナ禍での地域福祉活動の状況

活動の状況について、本紙の編集委員から各地区社協ごとに報告します。

プレゼントを持って見守りを

高津第一地区社会福祉協議会 足立 良雄

新型コロナウイルスが猛威を振るい、政府による緊急事態宣言の発出などもあり、感染拡大防止等の観点から、私たちが計画していた今年の事業をほとんど行うことができませんでした。

ひとりぐらしの高齢者の見守り活動がなかなかできない中で、ひとりぐらし老人会食会(福寿草の会)の代替策を思案していました。そして、見守りを兼ねて少しでもコミュニケーションを保ち、元気で過ごしていただきたいとの思いから、ささやかですがビスケットと脳活ドリルをセットにしたものを福寿草の会の方々に手渡しでお届けしました。会員の方からは「会食会が無くて残念ですが、こういうものをもらえて少しお話ができてうれしい」などの声をいただいています。

まだまだ新型コロナウイルスの感染が収束する兆しがありません。三密を避け、感染対策をとるなど、健康に十分留意してお過ごしください。 お渡ししたプレゼントなど



体も心もリフレッシュ

高津第二地区社会福祉協議会 横沢 かつ子

高津第二地区社会福祉協議会・厚生福祉部では、ふれあい会食会(年6回)・上作延ミニデイ(年12回)を30年続けて開催致して参りました。そこでは自治会長・保護司・ボランティア・民生委員児童委員等にご協力をいただき、季節の献立を考えて調理し皆様に提供しておりました。しかし、去年はコロナウイルス感染拡大防止の為、食事を頂いたり合唱したり楽しいお話しをすることが出来なくなりました。そこで、対象者の皆様が自粛し家に閉じこもることが心配で、三密を避ける為に10人前後の小さい地域に分けて、2部制や3部制で開催いたしました。ソーシャルディスタンスを守り消毒を徹底し、トイレも使用した後は直ぐに消毒を致しました。そして、最後にお弁当を持ち帰って頂きました。この様な形の開催となりましたが、「ありがとう。楽しかったわ」、「お逢い出来て嬉しかった」とおっしゃって帰られました。コロナが収束したら、また美味しいお食事や、楽しいアトラクションをお届けしたいと思います。引き続き皆様方のご支援ご協力を宜しくお願い致します。



椅子に座ってストレッチ



ボール入力で体も心も動かして!

一人ひとり お宅を訪問

高津第三地区社会福祉協議会 山本 美代子

高津第三地区には、9つの町会があります。その町会の高齢者の会や老人クラブを主な単位として、それぞれミニデイや公園体操などを行っています。また、地区社協として、いずみ会（会食会）、障がい児者福祉部会、児童福祉部会、老人福祉部会、あけぼの会、福祉推進部会に分かれて活動しています。この度の世界が恐れている新型コロナでは、福祉の場面は幕を下ろしたような静けさで心も痛みます。昨年12月時点ではミニデイ、公園体操、グランドゴルフなどを一部の団体で再開しています。コロナ対策のため、規模を縮小し消毒やマスクをして活動しています。また、障がい児者福祉部会ではクリスマス会が開けないので対象者のお宅を訪問してプレゼントをお渡ししました。

昨年度、従来地域福祉活動をしたことのない人も集めて立ち上げた「人生100年会」は、今年度は再開に向けて3か月に1回メンバーが集まり打合せを行っています。コロナの影響で1年間空いてしまったので、仕切り直して始めようとしています。



サンタになって見守り



プレゼント

体を動かして体調維持を

橘地区社会福祉協議会 坂本 京子

橘地区では第三地区民児協が行う会食会を10月から再開しました。事前に参加を募ったところ会場の人数制限を超える方の希望を受け、2部制で開催しています。スタッフ10人で事前に椅子を消毒、トイレにも消毒薬を置く、受付ではパーテーションを設置、マスクの着用を呼びかける、などコロナ対策を徹底して、10月は1部23人、2部22人、11月は同20人、同24人を迎えました。それぞれの回では区役所から来ていただいた職員お二人から衛生面のお話や、乙女文楽交流公演のご案内が、また、久末包括支援センターからは血圧測定、健康相談や、座ったままでできる体操を行いました。帰りには、袋に入れたお弁当、お茶、マスク、ウエットティッシュの他、保育園園児たちからのプレゼントなどをおみやげにお持ちいただきました。久しぶりに会う方とマスク越しでの少しの挨拶もありましたが、会が始まれば全員前を向き静かにお話を聴かれました。

時間を決めて2部制にしましたがバスの時間などで、早めに来た人が1部の方に入ってすぐに帰らないと...とか、従来のイベントが中止となっているため、それを楽しみにしている方は参加できずにいるなど、課題はありますが、まずはできることからと考え、今後のコロナの状況も考慮しながら、ふれあい活動を行っていきます。



お持ち帰りの“おみやげ”



蟹ヶ谷保育園の園児からプレゼント

みんなで創ろう”地域福祉の輪”

～ あたたかいご寄付ありがとうございました ～

共同募金

令和3年1月13日現在

戸別	8,933,117円
法人	284,000円
校内	273,319円
職域・その他	1,077,966円
合計	10,568,402円

ご協力いただいた募金は、高津区社会福祉協議会の子育て支援事業、移送サービス事業、神奈川県内の社会福祉事業等の支援等に使用させていただきます。

年末たすけあい

令和3年1月13日現在

戸別	7,343,263円
その他	66,325円
合計	7,409,588円

ご協力いただいた募金は、区内の年末たすけあい見舞金、ボランティア団体への配分等の福祉活動に使わせていただきます。

賛助会費

令和3年1月21日現在

高津第一地区社協	960,000円
高津第二地区社協	1,514,000円
高津第三地区社協	978,000円
橘地区社協	1,441,000円
高津区社協	10,000円
合計	4,903,000円

社協の事業や活動にご賛同いただいた方々に会員になっていただき、財政面でも支えていただくものです。主に、区内の4つの地区社協に配分し、事業推進に使わせていただきます。

編集後記

高津区社会福祉協議会 常任委員 川邊 清三

新型コロナに関して行政や専門家から発信される要請・情報をもとに、社協でも多くの行事や活動を中止・変更してきました。社協は感染後のリスクが比較的高い方との関りが多く、特に慎重な対応をとっています。各地区からの報告のように福祉活動を主催するボランティアの方は、専門家の発信する情報を知見として、それぞれ自分たちの会や団体に当てはめて、手探りで活動を再開、または再開検討をしています。

また、こうしたコロナ禍でもボランティアとして活動を望む方は多く、例えば、現在は活動制限がある傾聴ボランティアでは、傾聴入門の講習会を開催しましたが、定員を大幅に超える応募があり、2回開催することとなりました。このように先を見据えたボランティア育成の活動も進めてまいります。

今後も変化する感染状況や知見を確認し、出来ること出来ないこと、そして「大事なこと」を考え、活動に参加される方々にも引き続きご協力をいただきながら、みんなでこの危機を乗り越えていきましょう。

編集委員

横沢 かつ子 足立 良雄 山本 美代子 坂本 京子 川邊 清三 (順不同)

この広報誌は共同募金の分配金で作成されています。



寄託金品 (令和2年7月～12月)

寄託金品をお寄せくださった団体や個人の皆様
(敬称略・順不同)

寄託金 489,908円

- 神奈川県土建川崎中央支部
- たちばな経済研修会
- 関口弘之
- 匿名(4名)

寄託品

- 川崎高津ロータリークラブ
- 川崎高津南ロータリークラブ
- 匿名(1名)

